

明治・大正期 (1879～1926)

西暦	元号	月	福岡商工会議所のあゆみ	月	主な出来事
1878	明治11			3	東京商法会議所設立認可
1879	明治12	10	福岡商法会議所設立認可（事務所を第十七銀行内に置く）		
1880	明治13				
1881	明治14	12	横浜生糸紛議で荷預所を支援	4	農商務省を設置
1882	明治15			4	第1回九州沖縄8県連合共進会を長崎で開催
				6	日本銀行条例公布
1883	明治16				
1884	明治17				
1885	明治18	1	福岡商法会議所規程（定款）を決定		
		2	事務所を「いろは館」（麹屋町22番地）に移転	12	太政官制を廃止し内閣制度を置く、第1次伊藤内閣
1886	明治19				
1887	明治20			3	第5回九州沖縄8県連合共進会を東中洲で開催
1888	明治21	7	商法会議所を改組し福岡商工会と改称、博多行町56番地に移転	6	九州鉄道会社設立
1889	明治22			2	大日本帝国憲法発布（M23.11.29施行）
				7	博多港、特別輸出港に指定される
				12	九州鉄道、博多～久留米間開通、博多駅開業
1890	明治23			7	第1回衆議院議員選挙実施
				11	第1回帝国議会開く
1891	明治24	7	新条例による博多商業会議所の設立認可		
		10	本会議所初の会員選挙		
		12	定款認可、事務所を博多東中洲210共進館内におく		
1892	明治25	5	私設鉄道買収の儀につき帝国議会へ請願		
		9	「職工税」創設の儀につき福岡県知事に開申	9	全国商業会議所連合会（日商の前身）創設
		10	日韓貿易調査委員（磯野七平、岡部寛）が訪韓		
1893	明治26	6	日本銀行西部支店開設の儀につき大蔵大臣に建議		
1894	明治27	5	九州本土間海底電信線架設の儀につき貴衆両院へ請願	8	清国に宣戦布告（日清戦争）
1895	明治28			4	日清講和条約調印
				5	博多港を特別輸出入港に指定
1896	明治29	4	第5回全国商業会議所連合会総会を福岡市で開催、関門海峡海底鉄道布設建議を上程するも否決	3	博多電燈（株）設立
		6	開港場増設の儀につき農商務、大蔵、外務大臣に建議及び貴衆両院に請願	10	博多港、特別輸出入港となる
1897	明治30	11	商業会議所連合会で営業税の廃止を決議	11	博多電燈（株）開業、福岡市内に初めて電燈灯る
1898	明治31	3	本所に「福岡県商工相談所」を開設		
		5	商業学校設立の儀につき福岡市長に建議		
		//	商品陳列所の開設の儀につき福岡県知事に県議		
1899	明治32			7	福岡市商業学校設立認可
				//	博多港、関税法により国際貿易港として指定
1900	明治33			4	株式市場大暴落、各地に金融恐慌
1901	明治34	2	金融界の動揺を防ぎ、貯蓄奨励運動推進を九州各県知事に要望		
1902	明治35	2	博多商業会議所新築落成式（東中洲111番地）		
		3	商業会所法公布（商業会議所条例廃止）		
1903	明治36			4	京都帝国大学福岡医科大学（現在の九大医学部）開校
1904	明治37	12	韓国航路開設を福岡市長に答申	2	ロシアに宣戦布告（日露戦争）
1905	明治38	7	福岡、東京間の長距離電話架設の儀につき開申	6	博多～釜山指定航路開航
				9	日露講和条約調印
1906	明治39			3	福岡県物産陳列場が開場式
1907	明治40				
1908	明治41				
1909	明治42				
1910	明治43	3	第13回九州沖縄8県連合共進会、薬院肥前堀埋立地跡（現在の天神1丁目地区）で開催	3	福博電気軌道、福岡市内電車（大学前～西公園、呉服町～博多駅前）営業開始
1911	明治44			2	日米新通商航海条約調印、初めて関税自主権確立
				4	九州帝国大学、京都帝国大学から独立開校
1912	明治45 大正元			7	明治天皇崩御、大正と改元
1913	大正2	5	福岡県商工団体連合協議会を結成		
1914	大正3			7	第1次世界大戦勃発
1915	大正4			4	福岡県新庁舎開庁式
1916	大正5				
1917	大正6				
1918	大正7	6	福博発展期成会で博多駅の移転を決議	11	第1次世界大戦終わる
1919	大正8	4	商業会議所西部連合会で日本大博覧会開催を建議		
		6	博多商工会議所報創刊（B5版、毎月発行）		
1920	大正9				

1921	大正10	7 博多部に二等郵便局設を建議	
1922	大正11		12 アインシュタイン博士来福、大博劇場で講演
1923	大正12	1 東中洲大火で本会議所焼失、東邦電力支社へ事務所移転 10 西部商業会議所協議会で震災善後措置を建議	9 関東大震災起こる 11 博多郵便局開局
1924	大正13	12 博多商業会議所落成式を挙行	
1925	大正14	3 日本銀行福岡支店の設置方を要望 // 福岡放送局の開設を陳情	1 日ソ基本条約調印（国交回復） 4 福岡～大阪間の定期航空便運航
1926	大正15 昭和元	2 博多駅付近地下道開設を要望 7 博多港の重要港編入を要望	12 昭和と改元
1927	昭和2	3 東亜勸業博覧会を開催。福岡市の産業・交通・観光・物産の案内書を作成、観光客誘致に努める。 5 全国商業会議所連合会臨時総会を福岡市で開催、恐慌の善後策を決議 6 金融恐慌による商工業者向け緊急対策の実施を要望	3 金融恐慌起こる 11 博多港、第2種重要港湾に指定 12 東京地下鉄、上野～浅草間開通
1928	昭和3	6 商工会議所法施行に基づき、博多商業会議所を博多商工会議所へ改編	2 日本初の普通選挙実施 5 日本商工会議所設立
1929	昭和4		10 米国で株価大暴落、世界恐慌へ
1930	昭和5	12 市内の各商工業者と不況対策懇談会を開催 // 中小商工業者への金融資などを要望	
1931	昭和6	11 福岡（名島）飛行場付近に陸上飛行場の急設を陳情	9 満州事変起こる
1932	昭和7		5 5.15事件起こる（犬養首相殺害）
1933	昭和8	1 福岡県物産協会を設立 7 工場誘致に関し福岡市へ要望	3 日本、国際連盟脱退
1934	昭和9		
1935	昭和10		
1936	昭和11		2 2.26事件起こる 6 雁の巣陸上飛行場竣工式 12 福博商店連盟を結成
1937	昭和12	4 福岡市商工相談所を設置 7 日本銀行福岡支店の早期設置方を陳情	4 福岡市、工場建設奨励規定を施行
1938	昭和13		
1939	昭和14		9 第2次世界大戦始まる
1940	昭和15		
1941	昭和16		12 日本銀行福岡支店開設 // 太平洋戦争始まる
1942	昭和17		11 関門海底トンネル下り線開通
1943	昭和18	3 新生大南方展覧会開催、20年後の大福岡想図を発表 10 福岡県商工経済会発足（博多商工会議所は解散、福岡支部となる）	
1944	昭和19	11 第1回珠能力検定試験施行	
1945	昭和20		6 福岡市大空襲を受ける（本会議所も被災） 8 日本、無条件降伏、第2次世界大戦終わる
1946	昭和21	10 社団法人福岡商工会議所創立総会開催 12 社団法人日本商工会議所設立 // 福岡県商工会議所連合会設立	4 経済同友会設立 8 経済団体連合会創立
1947	昭和22	4 福岡市商店街連盟の設立に尽力、創立総会開催 5 祭り振興会を設立、博多どんたくを復活 8 九州地区商工会議所連合会結成 10 誓文払いを開催 11 福岡観光協会の設立に尽力、創立総会を開催	5 日本国憲法施行
1948	昭和23		4 通商産業省設置 4 通商産業省設置  7 中小企業庁設置法公布（23.8.1開庁） 9 取引高税を実施 10 新設の平和台競技場で第3回国民体育大会を開催
1949	昭和24	1 第1回店頭装飾競技大会を開催  9 第1回全九州珠算競技大会を当所で開催	3 福岡県信用保証協会設立 6 福岡証券取引所開設 8 中小企業庁開庁
1950	昭和25	5 福岡中小企業相談所を開設 10 “商工まつり”を福岡市と共催、多大の成果	
1951	昭和26	2 税務相談所を中小企業相談所に併設 7 第1回福岡市経済人余技展を岩田屋にて開催	2 西鉄ライオンズ誕生 10 板付空港、民間航空再開 11 日本航空、東京～大阪～福岡間定期運行開始
1952	昭和27		

1953	昭和28	10 商工会議所法施行 // 九州大学に建築学科の新設方を要望	
1954	昭和29	6 新法に基づき特殊法人福岡商工会議所として発足 11 第1回簿記検定試験を施行	
1955	昭和30	3 特定商工業者登録制度の認可に伴い実施、法定台帳を作成	4 福岡市人口50万人を突破
1956	昭和31		4 NHK福岡テレビ局開局 10 西鉄ライオンズ、日本シリーズ初優勝
1957	昭和32	3 博多どんたく港まつり振興会創設 4 福岡県小口事業資金融資制度運営委員会を設置	11 大相撲九州場所開幕
1958	昭和33		
1959	昭和34	3 出先官庁の合同庁舎建設促進を要望 8 新卒者初任給実態調査実施 10 第1回繊維卸見本市を開催	7 最低賃金法施行
1960	昭和35	1 第1回新年祝賀会開催 2 西鉄大牟田線高架化促進を要望 3 会議所ビル建設用地に市有地の払い下げ要望	1 三井三池鉱産でロックアウト、無期限ストに突入 12 博多～釜山定期航路第1船就航
1961	昭和36		4 九州・山口経済連合会発足
1962	昭和37	5 福岡市民の祭り振興会設立 6 新幹線の九州までの延長方を要望 // 福岡珠算振興会設立	
1963	昭和38	4 福岡商工会議所“所報”発刊（毎月15日）	12 初の民衆駅として国鉄博多駅開業
1964	昭和39		10 東海道新幹線、東京～大阪間開業 // 東京オリンピック開催
1965	昭和40	3 第1回優良従業員表彰式実施 7 合同庁舎の博多駅周辺建設を陳情	
1966	昭和41	6 第1回福岡市のモデル賃金調査実施	
1967	昭和42		
1968	昭和43		
1969	昭和44	2 大型店舗実態調査実施 11 福岡商工会議所人会創立総会	2 福岡市商店街百貨店連盟結成
1970	昭和45	12 福岡商工会議所ビル竣工	
1971	昭和46		
1972	昭和47	2 福岡市民の祭り「どんたく広場」の実現方を要望 11 退職金共済、会員事業所共済の2制度を創設 // 西鉄街、因幡町、銀座通一体化ビル建設促進協議会設置 12 新幹線博多乗り入れ影響予測調査実施	4 福岡市、政令指定都市に昇格 5 沖縄、全面返還される
1973	昭和48	6 市内5区に支所、出張所を開設 10 小規模企業振興委員会発足 // 小企業経営改善資金融資制度創設される	10 オイルショック、原油価格一挙に4倍へ
1974	昭和49	3 福岡外環状線の建設促進を要望 5 福岡市商業近代化推進協議会を設置	3 大規模小売店舗法施行
1975	昭和50	4 地場企業の景気・経営動向調査実施	3 新幹線、博多駅まで営業開始 7 福岡流通センター竣工 10 福岡市の人口100万人を突破
1976	昭和51	2 会員企業従業員に対する成人病集団検診開始	
1977	昭和52	1 福岡空港の国際線関係官庁（CIQ）施設の拡充を要望 7 「経営者年金共済制度」を創設 12 主要都市の国際会議場設状況調査	
1978	昭和53	10 求人企業合同説明会開催 // 商工会議所100年記念式典、東京で開催（郷土祭に博多祇園山笠出演）	3 西鉄大牟田線、平尾～大橋間高架工事完了
1979	昭和54	10 福岡商工会議所創立100周年記念式典（九電記念体育館） 11 第15回日米市長・商工会議所会頭会議、福岡市で開催	5 大規模小売店舗法改正施行
1980	昭和55	4 倒産防止特別相談室設置、商工調停士委嘱 5 “博多どんたく港まつり”に戦後最高の300団体、3万人が参加、入出も270万人	
1981	昭和56	8 当所会員企業10,000社を突破（東京、大阪、横浜、名古屋、札幌に次ぐ）	7 福岡市営地下鉄、室見～天神間開業 10 福岡県庁、東公園に新築移転
1982	昭和57	2 食品まつり「第1回博多うまかもん市」開催	5 旧西区が城南・早良・西区に分区、7区制に
1983	昭和58		3 福岡市営地下鉄1号線全線開通、筑肥線と相互乗入れ開始
1984	昭和59		
1985	昭和60	2 第1回ふくおか経済人余技展開催	1 輸出好調で過去最高の貿易黒字
1986	昭和61	1 地下鉄1号線の福岡空港まで延伸について要望 11 簿記検定試験、年間受験者1万人を突破	
1987	昭和62		
1988	昭和63	5 “どんたく広場”を国体道路から明治通りへ移動	1 国鉄分割民営化、JR誕生 7 7月福岡市、人口120万人を突破

1989	昭和64 平成元	4 釜山商工会議所との業務提携調印式 5 消費税の導入に向け“消費税特別相談コーナー”を設置 12 新国際空港建設計画の促進方を要望	10 福岡ダイエーホークス誕生 3 “アジア太平洋博覧会”開幕（171日間、入場者820万人） 4 消費税導入実施
1990	平成2	7 “博多商人塾”を福岡市と共催で実施 11 第1回ランチコミュニケ（支店長会）を開催	9 第45回国民体育大会（とびうめ国体）開催 // 第1回アジアマンス開幕
1991	平成3	2 第1回福商経済講演会を開催 10 博多伝統芸能振興会設立、第1回“博多をどり”を開催	
1992	平成4		1 企業倒産1万件を突破（負債総額史上最高の8.15兆円）
1993	平成5	1 福岡空港将来構想検討委員会（県・市・当所で構成）を設置	3 地下鉄1号線、福岡空港まで延伸 4 日本初の閉閉式“福岡ドーム”誕生
1994	平成6	9 アジア開発銀行福岡総会開催準備委員会設置	
1995	平成7	11 検定試験開始以来、福岡の受験者総数100万人を突破	1 阪神・淡路大震災 7 九州自動車道が全線開通 8 マリンメッセ福岡オープン // ユニバーシアード福岡大会開催
1996	平成8	4 部会再編、議員定数を100人から120人に増員 5 福商連、九州新幹線建設促進総決起大会を開催 9 福岡県中小企業総決起大会を開催、景気対策や商店街の活性化対策を決議	
1997	平成9	7 “第1回そろばんグランプリ全国大会”を福岡市で開催	4 消費税を5%に引き上げ 5 アジア開発銀行（ADB）第30回福岡総会を開催
1998	平成10		7 中心市街地活性化法施行
1999	平成11	7 会社合同説明会開催 9 福商パソコンスクール開講 10 「創立120周年記念式典及び祝賀会」開催	4 都市高速道開通、九州縦貫道と直結 5 福岡空港国際線ターミナルオープン 6 「博多座」開業 8 博多港開港100周年
2000	平成12	1 「ホームページ作成システム」サービス開始 7 博多伝統芸能振興会、一般公募で新人芸妓を育成	5 福岡証券取引所、Q-board開設 6 大規模小売店舗立地法施行 7 九州・沖縄サミット開催
2001	平成13	9 「FOOD2001」開催、「新商品・食材商談会」「福岡対話」を実施 10 第46回九州ビジネスショウで「福商ITフェア」コーナーを設置	7 第9回世界水泳選手権福岡2001開幕
2002	平成14	5 福利厚生サービス事業「生活習慣病検診（法定検診）」開始 3 「福岡県中小企業再生支援協議会」を設置	5 日韓共催のFIFAワールドカップ開幕
2003	平成15	3 「福岡県中小企業再生支援協議会」を設置 9 「ビジネス交流会」を初開催	3 九州新幹線、新八代駅～鹿児島中央駅が開業
2004	平成16	4 「会議所ニュース」リニューアル 7 「福商ビジネス倶楽部」設立	4 消費税の総額表示義務化
2005	平成17		2 福岡市営地下鉄七隈線、橋本～天神南で開業 4 九州観光推進機構発足
2006	平成18	4 「福商ビジネス情報便」サービスを開始 5 「販路拡大アドバイザー」を活用し、県内中小企業の海外への販路拡大を支援	
2007	平成19	4 「労働保険事務組合」による労働保険事務代行を始める 6 福岡ソフトバンクホークスとの共同企画「HAWKS特別割引回数券」を企画・販売 9 「街なか観光」事業を推進西新・高取・藤崎で6コースの街あるきを実施	
2008	平成20	3 「福岡アジアファッション拠点推進会議」を設立 5 「地域連携拠点事業」を受託、「事業承継支援センター」設置 10 「福岡県ジョブ・カードセンター」開設	
2009	平成21	2 釜山商工鍵所と姉妹提携 3 「福岡アジアコレクション」開催 4 博多伝統芸能振興会が新人芸妓を7年ぶりに公募し、育成支援 6 イメージキャラクター・ロゴマークを決定 10 創立130周年記念式典・祝賀会を開催	
2010	平成22	2 熊本・鹿児島商工会議所と合同で九州新幹線全線開業イベントを展開	3 東日本大震災 // 九州新幹線が全線開業
2011	平成23	4 九商連で「東日本大震災の復興に関する九州からの提言」採択 6 九商連で「九州における電力安定供給に関する緊急提言」採択	
2012	平成24	2 「福岡県事業引継ぎ支援センター」を全国6番目、九州で初めて開設 // 観光商談会を初開催	

2013	平成25	3 「ファッションウィーク福岡」を初開催	5 福岡市が国家戦略特区に指定
		5 「福岡空港滑走路増設等整備促進期成会」を設立	
		6 「福岡空港滑走路増設等早期整備の促進に関する要望」を提出	
2014	平成26	2 「福岡検定」初実施	5 福岡市が国家戦略特区に指定
		3 「食の都ふくおか」を初開催	
		10 「Food EXPO Kyushu」を開催	
		12 ラグビーワールドカップ2019福岡招致委員会を発足	
2015	平成27		1 福岡空港の滑走路増設の方針が決定
2016	平成28	4 「平成28年熊本地震からの復旧・復興に関する要望」を提出、全国商工会議所と連携して支援活動を展開	3 ラグビーワールドカップの福岡試合開催が決定
		// 「経営発達支援計画」を経済産業大臣が認定	4 平成28年熊本地震が発生
		11 博多伝統芸能館を開設	
2017	平成29		
2018	平成30	5 事業承継支援ネットワーク設立	
		7 「ワンストップ海外展開相談窓口」開設	